

今月の健康

『痛風』について



ある日突然、足の親指のつけ根に激痛を覚え、赤くはれあがつて歩けなくなる病氣（痛風発作）―痛風―について

は、最近耳にすることが多いと思う。

かつては、美食とアルコールとに關係があることから、「帝王の病氣」といわれ、

州の王侯貴族に多く見られた。ところが戦後本邦での生活

活が欧米化するにつれて、昭和三十三年頃から関心が深まり、最近では痛風患者数約四十万人、いつ発病してもいい

状態の人（痛風予備軍）は二百万人とされている。

五十〜六十歳の男性に圧倒的に多いのが特徴である。最近では若い人達にも見られる

ようになり、遺伝傾向がある。この様な痛みの激しい痛風とはどの様な仕組みで起ってくるのだろうか。

私達の身体を作り上げていく細胞が活動すると、新陳代謝の結果、血液中に尿酸が現れる。従って誰の体の中にも見られる訳で、肝臓で作られる腎臓から排出される（正常値は血液一〇〇cc中に六・四mg）

ところが何かの原因（高蛋白食・アルコール・激しい運動・精神的ストレス・ある種の薬剤等）で合成が高まった

り、又は排泄が減ると血液中の尿酸が増加し（高尿酸血症

この段階では痛みは無い）この状態が長く続くと尿酸塩として析出して、その結晶が足の親指のつけ根の関節等にたまって痛風発作を起して来る。

発作の特徴として痛みが激しいわりに放置していても、自然になおってしまいうため、「ねんざ」位に考えられたり

あるいは医師の治療をうけても、症状がなくなると治療を中断してしまうことが多い。

しかし高尿酸血症は続いている訳で、症状の無いまま腎臓に尿酸塩がたまって腎臓をいためたり（痛風腎）、腎臓結石の下地を作る。また、動脈硬化を起して脳出血や脳梗塞、心筋梗塞等の合併症を起して来る。

以上の様に痛風は慢性に経過する恐ろしい病氣故、日頃の摂生が必要で、前述の原因となる事柄に注意しよう。

若し発病した場合、すぐれた薬剤が開発されているので医師とよく相談されたい。

掲示板

●写真展 12月1日(木)〜6日(火)・郷土センター(カトレアクラブ)

●チャリティ絵画展 12月8日(木)〜13日(火)・郷土センター(樹輪会)

●絵画展 12月15日(木)〜20日(火)・郷土センター(ラーの会)

●日光氷上つな引き大会 12月18日(日)・日光スケートセンター

●第61回日本学生氷上競技選手権大会 12月19日(月)〜23日(金)・日光スケートセンター、日光電工リンク、細尾リンク

●日光AID村 12月31日(土)午後8時〜午後11時

日光郷土センター前広場(日光AID村実行委員会)

会員が「アットホームな場」を企画しています。

残り少ない一九八八年を、ぜひ、お楽しみください。

まろちの話題



ボーイスカウト日光第一団シニア隊の小田切正紀君(清滝三丁目今市工業高校)

小田切君がオーストラリアへ ボーイスカウト海外派遣

一年)が日本連盟の厳重な審査を経て、全国の代表四十名の一員として「オーストラリア・ジャンボリー」に派遣されることになりました。

同ジャンボリーは、三年毎に開かれ、今年で十五回目。会場内外で行われる各種プログラムを体験し、スカウト活

動を通じて体得した知識・技能・精神を一層高めると共に参加スカウトとの親善交歓で国際理解と友情を深めます。

小田切君らは、十二月二十三日、成田空港を出発し、一月十一日、空路シドニー

発って帰国します。

岡 一 明

日光市医師団